DECETER

取扱説明書

製造・販売元　L@titude

1．はじめに

このたびは「DECETER」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

「DECETER」はダイナミックなフカセ釣りを提供するものです。このアイテムを使って一味違ったフカセ釣りをお楽しみください。

「DECETER」の使い方は従来のウキと異なります。下記をよく読んで正しくお使いになり末永くご愛用ください。

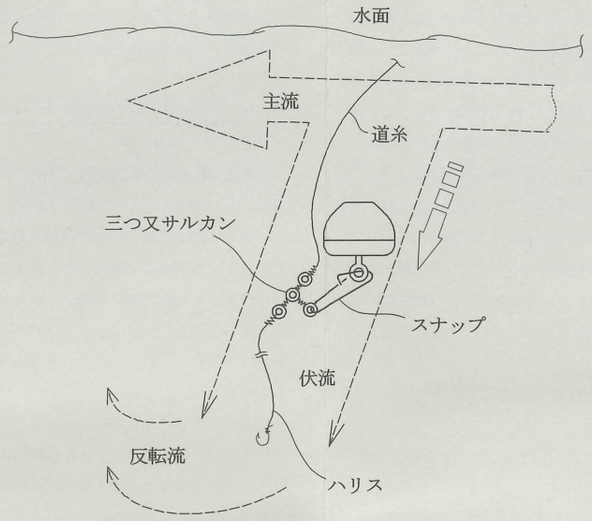
2．仕様

「DECETER」は、水面に浮かせて使用する「ウキ」とは異なります。

「DECETER」とは、”流れを発見し、探索し、制するもの”を意味します。「DECETER」は、フカセ釣り専用アイテムであり、水中に生じている流れを利用して仕掛けを釣人が狙った水深までキャリーするための道具です。「DECETER」の詳しい使い方については後記を参照してください。

「DECETER」は微小な浮力を有しています。「DECETER」は、直径を示す記号と浮力を示す番号とによって特定します。直径はアルファベットにより示し、ａ、ｂ、ｃ・・・の順に大径となります。浮力は番号が大きいほど大きくなります。ただし、この浮力は通常のウキに表示されている「Ｂ」や「２Ｂ」などの便宜的な浮力表示と異なり、5/1000グラムのオーダで非常に高精度に設定されたものです。

「DECETER」の最大の特徴はその外形形状にあります。「DECETER」は流体力学に基づいて造形され、その外形母線は、35°16’の完璧な楕円曲線に仕上げられています。「DECETER」は、このフォルムによって流れに乗って移動します。



3．使用方法

=====水中の流れとDEP釣法の概説=====

「DECETER」は、水中の流れを利用して魚のタナまでサシエを沈めて行くための道具です。つまり、普通のウキと異なり、水中に発生する流れ（「カレント」とも呼ばれることがあります。）に乗って水中に潜行して行くものです。これを「DEP釣法」といいます。

それでは、まず、水中の流れと、なぜこのような釣法が有効であるかについて説明しましょう。

フカセ釣りに関しては、従来から阿波釣法をはじめ、そこから派生したさまざまな釣法が考えられてきました。それぞれの釣法は異なりますが、「魚が釣れた」という結果は、必ず「サシエが魚のタナに入っていた」という原因がもたらすものであると考えられています。

そうすると、魚のタナまでサシエをいかにして沈めていくかが、魚が釣れる確率を高めることにつながります。そこで、注目すべきが水中の流れであり、これを利用してサシエを魚のタナに送り込もうとするのが「DEP釣法」です。

水中の流れは実は非常に複雑で、さまざまな流れが存在するといわれます。水中の流れを大ざっぱに分類すると、図に示すような主流、伏流、反転流があると言われています。

主流とは、通常は潮流のことをいい、これが流れの本体である場合は本流とも呼ばれます。

伏流とは、主流から分岐して海底方向へ向かう流れです。伏流は常に発生しているものではなく、発生しては消滅し、消滅しては発生する流れです。この消滅・発生は数秒～数十秒単位で起こる現象と考えられています。

また反転流とは、伏流が海底に達した後に反転した流れ、または他の流れや海中の障害物等の影響を受けて反転した流れであって、海底から海面方向へ向かう流れです。これが水面にまで達するときは湧昇流とも呼ばれます。

ここで、釣りにとって重要な「流れ」は、伏流および反転流です。釣人の経験上、この伏流および反転流の発生しているポイントで魚がヒットしてくる確率が高いと言われています。このことはつまり、この流れの近くには魚のタナが存在する確率が高いことが予想されます。ですから、この「流れ」を見つけ、その「流れ」に沿ってエサを沈めることにより、魚が釣れる確率を高くすることができると考えられます。

ただし、ここで問題になるのが、この「流れ」は肉眼では確認できないということです。「DECETER」は、この「見えない流れ」を見つけることに主眼をおいて製作されました。

=====仕掛け=====

「DEP釣法」に用いる仕掛けは単純であり、図に示すようなものです。

「流れ」は肉眼では見えませんが、「DECETER」が「流れ」と出会ったときは、これらの「流れ」の力を借りて流れに沿った動きをします。「DECETER」は特に伏流と反転流を利用して水中で上下に動きます。

「DECETER」を使ったフカセ釣り仕掛けの一例をご紹介します。ただし、これは単なる一例ですので、ご自分に合った仕掛けの作り方というものを工夫してみてください。「DECETER」の使用は、多様な展開ができることにお気づきになると思います。

さて、仕掛けは非常に簡単であり、三つ又サルカンにスナップを取り付け、これに「DECETER」を装着します。三つ又サルカンの一端に道糸、他端にハリスを結びます。ハリスの長さは１ヒロ（約１．５m程度）を目安にしてください。

この仕掛けでは、一見すると、「ウキ下」が１ヒロであり、非常に浅ダナ狙いのような気がします。しかし、この仕掛けは、ウキを浮かせて使用するものではなく、「DECETER」を流れに乗せて沈ませるものですから、「ウキ下」という概念が存在しません。

「DECETER」を「流れ」に乗せて潜行させて行き、サシエを魚のタナまで送り込みます。

=====使い方のコツ=====

①　アタリの取り方

「DECETER」は水中に潜行するものですから、アタリの取り方は普通のウキとは異なります。ただし、潜行して行く「DECETER」が肉眼で確認できるときは、通常の「ウキ」と同様に「DECETER」の動きでアタリをとります。また、「DECETER」を肉眼で確認することができなくなったときは、主にラインでアタリをとります。魚がヒットしたときは、多くの場合、ラインが強く引っ張られます。

なお、アタリの取り方についてもこれらは単なる例示ですので、釣人のさまざまな感覚によってアタリをとることはできます。要するに「慣れ」の問題ですので工夫してみてください。

②　タックルバランス

一例として、ロッド1.5号、ライン３号（150m）、ハリス３号、ハリ８号（グレ）、「DECETER」ｂ６。

このタックルですと、「流れ」が発生していない水中に仕掛けを投入した場合、仕掛けがなじんだだけでは「DECETER」は潜行しません。しかし、「DECETER」が主流に引かれながら「流れ」に出会った場合には、たちまち潜行が始まります。そして、潜行させながら、釣人が狙ったタナまでサシエを沈めていきます。

この仕掛けで、「DECETER」をｂ４に変更すると「DECETER」の潜行がさらに早くなります。さらに、「DECETER」をｂ３に変更すると、「流れ」がなくても仕掛けがなじんだだけでゆっくりと沈み始めます。ただし、潜行の速度は、その日の潮の状態等によって変化します。ですから、その日その釣り場で、自分の狙ったタナまで、自分の意図する速さでサシエを送り込めるように、「DECETER」の番手をいろいろと交換しながら釣りを進めるのが理想です。

ここで、「魚のタナ」とは、釣人自身がその日、その釣り場の状況から予想するものです。たとえば、マキエを撒いて海中の中をよく観察した結果、魚がマキエを拾うことが肉眼で確認できれば、その水深が「魚のタナ」であり、その水深までサシエを沈めていくようにします。

=====釣り方のカンどころ=====

①　原則

「DEP釣法」は基本的に魚を浮かせて釣ります。つまり、エサを補食するために食い上がってくる食欲の旺盛な魚を狙います。したがって、ハリスは1.5mを基本とし、深くとも水面から3.0m～3.5mあたりでヒットさせるようにします。

②　浮力調整

「DECETER」の浮力を調整したいときは、ガン玉で調整することができます。その場合、ガン玉８号～６号を使用して調整することができます。

③　ライン操作

「DECETER」は「流れ」に乗せて海中に送り込んで行くものですから、ライン（道糸）の操作には十分に気を使ってください。潜行しようとする「DECETER」がラインによって少しでも引っ張られると、サシエが沈みません。

このため、魚のアタリを待つときはリールのベールは常にオープンにしておき、犬の散歩をするように「DECETER」が自由に動けるようにします。ただし、ラインでアタリをとるためには、ラインの弛みを無くす必要があります。つまり、ラインは張りすぎても弛みすぎても問題があります。簡単にはできない作業ですが、練習をしてください。

④　深ダナ狙い

魚のタナが深い場合には、ハリスを長くして深いところにサシエを入れるようにします。この場合には、ハリの近くにガン玉を付けるのが効果的です。また、

いわゆるスルスル仕掛けにすることも有効です。また、風が強く、ラインが風に吹かれることにより「DECETER」が思うように潜行しない場合にもハリスを長くすることが有効です。

要するに、その日の魚のタナはどこなのか、それを見極めて（推理して）サシエをその水深まで沈めるための努力をしてください。

以上が「DECETER」に関する基本的な事項です。しかし、この「DEP釣法」は、「DECETER」と糸と針という非常に簡単な道具のみで行うシンプルなものですから、ひとつひとつの道具の応用範囲が非常に広くなります。

「DECETER」のみに注目してもいろいろな使い方が可能となりますから、タックルバランスは釣人の感性でバリエーションが広がります。繰り返しになりますが、とにかく「魚のタナまでサシエを沈める」ことが最終目標ですので、これを達成するために釣人ひとりひとりのアイデアで無限に広がる釣法を展開してください。

4．注意事項

「DECETER」は磯釣り専用に用いる道具ですので、下記の注意事項を守って正しくお使いください。

★　幼児（小児）の手の届くところに置かないでください。

★　磯釣り用の道具以外の用途には使用しないでください。

★　使用後は水で洗浄し、直射日光を避けて自然乾燥させてください。

★　「DECETER」の改造はおやめください。

★　「DECETER」には強い衝撃を与えないでください。

★　高温（50℃以上）となる場所に長時間保管しないでください。

★　酸やアルカリ等の薬品に接触させないでください。